

小論文実習課題 説明1

最も単純なディベート型のテーマです。

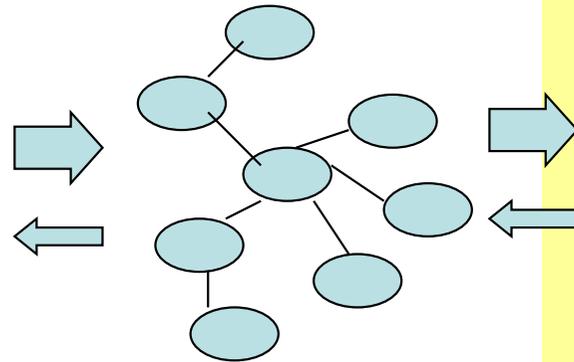
以下のテーマで600字程度の小論文作成する。

- ・ 授業中のスマホ利用について自分の考えを述べる。
- ・ 尊厳死について、あなたの考えを述べなさい。
- ・ 高校の制服についてあなたの考えを述べなさい。
- ・ パンデミック時(コロナ等)の飲食店営業時間短縮について、あなたの考えを述べなさい。
- ・ 高齢者と運転免許について、あなたの考えを述べなさい。
- ・ 学校でのAI利用について、あなたの考えを述べなさい。

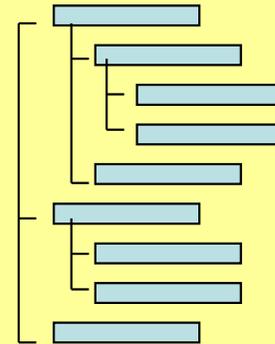
本来の文書作成の流れ



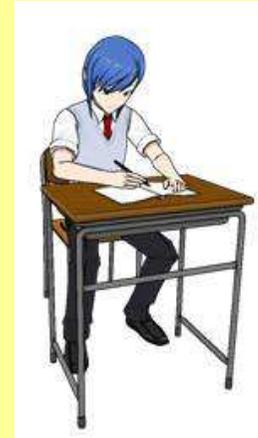
情報・データ・資料の
収集



情報・データ・資料の整
理・分析



文書の構造・
アウトライン
の作成



実際の文書
(文章)の作
成



実はここが
メインの作業

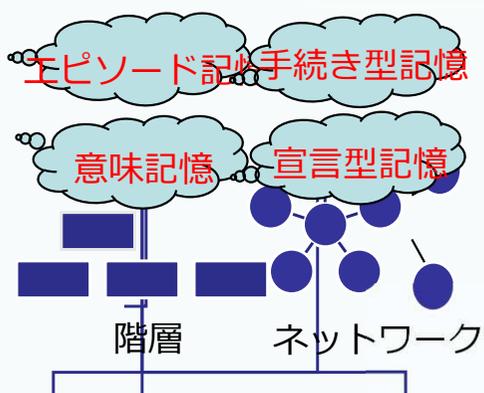


小論文の試験でも同じ

大量の資料(情報)

問：原発の稼働再開について、あなたの考えを述べなさい

理解



情報・データ・資料の整理・分析

情報・データ・資料の収集

構造・アウトラインの作成

- ・再再開に賛成である。
- ・日本は資源が少なく、有効なエネルギーであり、自然エネルギーの活用には時間がかかる。
- ・福島で危険性が明らかになったが、以後より安全な基準が作成されている。
- ・技術の保持も含めて再稼働すべきである。

アウトラインをもとに実際の論文を書きだす

本来は、このぐらいのアウトラインのメモを解答用紙のメモ欄に書いてから、どっと小論文を作成する。

600文字小論文の本来の作成手順

(頭の中で)情報を収集、分析、整理する。資料有の場合は資料の理解も含む

頭の中にネタがないと、ここは無理

序文・本論(1)・本論(2)・結論を各1~2行で書く

4段落のイメージがないと、ここも難しい

各1行を膨らませて、600文字のドラフトを作成する。

600文字のドラフトを見直して完成させる。



小論文実習課題 説明2

正しいやり方は難しいので、まず作ること、出来上がりのイメージを理解する。

手順0: テーマを決める

手順1: テーマに沿ってWebからネタを集める
文書に貼り付けていく(1000~2000文字目安)

手順2: テーマの賛成/反対の判断と大まかな4段落の作成
文章にコピー/修正して作成していく

この段階で出来る人は4段落のアウトラインを意識する。
(合計で600文字より少なくても多くてもいい:多めの方が後で楽)

手順3: 文章の推敲と文字合わせ
(最低9割 540~600文字で、である調)

600文字小論文の段落と文の構成

	段落総文字数	文数	文目安
序文	30～50文字	1 or 2文	1行前後
本論(1)	200～250文字	3～6文	1.5～2行前後
本論(2)	200～250文字	3～6文	1.5～2行前後
結論	50～100文字	1～2文	1.5～2行前後

ディベート型の段落構成

序文

設定に対する意見/考えを簡潔に書く

本論(1)

上記の意見/考えの元になる/根拠になる客観的に事実

本論(2)

結論

本論を踏まえた、意見/考えを少し補足して再提示

600文字小論文サンプル

【設問】 選択的夫婦別姓制度に関して、自由に論じなさい（神戸大・改）

私は、選択的夫婦別姓制度の採用に賛成である。 ↩
選択的夫婦別姓制度に反対する人の意見として、家族の絆が弱まり、離婚が増えるというものがある。この議論は、アメリカで夫婦別姓の導入が進んだ後に、離婚が増えたことを根拠にしている。しかし、この時期には世界的に離婚が増えており、夫婦別姓の影響とは言い切れない。また、北欧では夫婦別姓による離婚増加の傾向はない。よって、家族の絆が弱まり、離婚が増えるというのは、根拠に乏しい。死刑が重大犯罪を抑止するというイメージ同様、多くの人が先入観や単純な理屈から信じてしまうような議論こそ、きちんと過去の統計を見る必要がある。 ↩

一方、選択的夫婦別姓制度には、目に見える確かなメリットがある。特に女性にとって注目すべき点が多い。現在、女性は就職し社会的に活躍をしても、姓が変わることで、それまでのつながりや評価が途切れてしまうことがある。2つの姓を使い分ける選択肢もあるが、煩雑さは否めない。そもそも、なぜ女性にだけ、これまで慣れ親しんできた姓の変更を強いることができるのだろうか。憲法の法の下での平等に反するという点は、どう論じても否定が難しい。 ↩

以上から、私は選択的夫婦別姓制度の採用に賛成である。今後の少子化のなか、女性が男性と対等に扱われ、社会でスムーズに活躍してゆくことの、1つの契機になり、日本経済の発展にもつながる可能性がある。 ↩

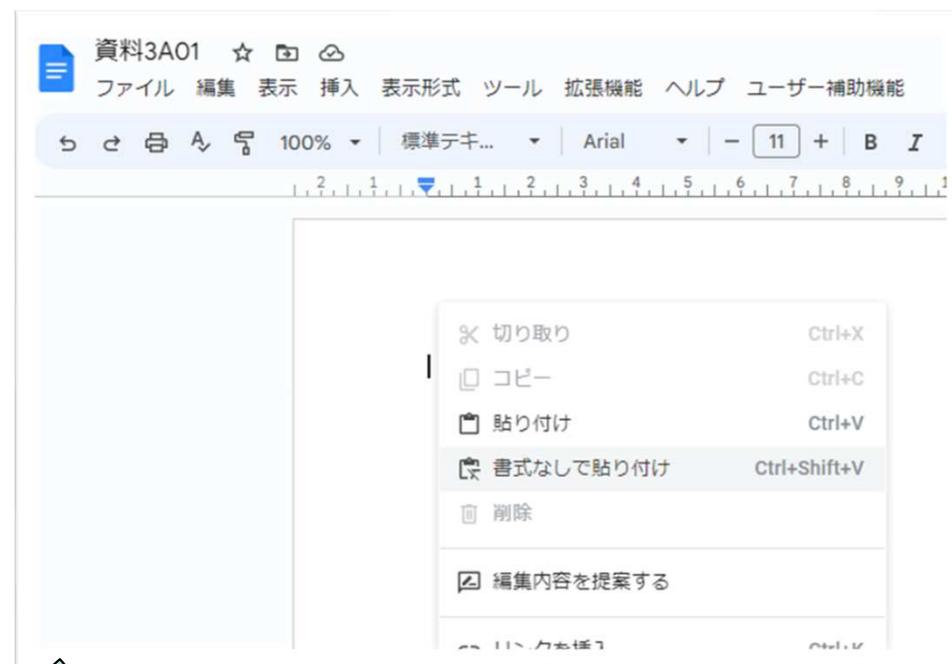
手順1: テーマに沿ってWebからネタを集める 文書に貼り付けていく(1000~2000文字目安)

○はじめに、貼り付け先の文書を作っておく。

“資料3E02” など



使えそうな部分を
コピーする。



貼り付けていく
(書式なしで貼り付け)

手順2: テーマの賛成/反対の判断と大まかな4段落の作成
文章にコピー/修正して作成していく

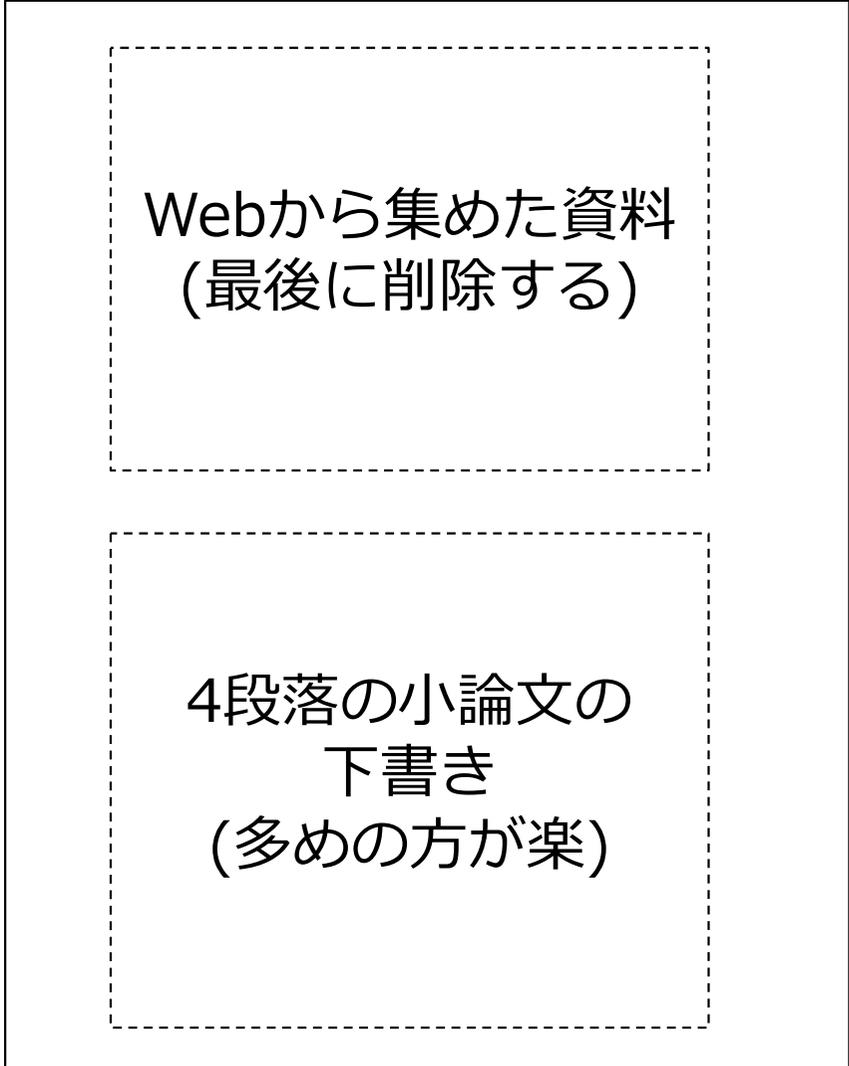
この段階で出来る人は4段落のアウトラインを意識する。

(合計で600文字より少なくても多くてもいい:多めの方が
後で楽)

○小論文のファイルを作成して、
集めた資料をコピーしておく

○その後、資料を参考又は適当
にコピーして、コピーした資料
の下に4段落の文章を作っていく
(コピーした資料の部分は最後まで
残していく)。出来る人は4行
のアウトラインを先に書く

○ある程度形になったらチェック
を受ける



Webから集めた資料
(最後に削除する)

4段落の小論文の
下書き
(多めの方が楽)

手順2のチェックポイント

- 各段落の文字数はだいたい最終の文字数に近い(少し大きい)ぐらいか。
- 本論1/本論2(第2/3段落)は初めの、賛成/反対を示しているか。例:第2段落は賛成、第3段落は反対というのばダメ。
- 自分の考えて違う見方を入れた場合は、そうじゃないということを確認にする。
- 本論1/本論2(第2/3段落)は一つのテーマに沿っているか。複数の内容が入り組んでいないか。⇒ それぞれ1~2行で要約できるか。
- テーマに場面がある場合:本論1/本論2(第2/3段落)の内容はその場面のことか、一般的な内容になっていないか。
- 本論1/本論2(第2/3段落)は誰でも客観的に納得できる内容か。あなただけの思い込みでしようと言われえないか。

手順3: 文章の推敲と文字合わせ (最低9割 540~600文字で、である調)

○である調である。

○第二、三段落は、賛成・反対を明確に指示する説明

- ・客観的に誰でも納得できる内容
- ・可能であれば具体的な例があると良い
- ・他のデータなどを使用する場合は明記する
XXXの調査によると

○文としての判りやす。

- ・一文の長さと入っている情報量
- ・言葉のかかりが正しいかなど。

補足: 小論文用の知識を増やす

基本的には

- 各教科の知識
- 日常のニュース
(新聞、テレビ)
- いろいろな本

手っ取り早く知るには

文藝春秋オピニオン
202x年の論点100



毎年11月に発売

2024年の論点は2023年11月に発売予定

使用しない方がいいかもしれない言葉

抽象的/軽い言葉

愛

いっしょうけんめい がんばる

楽しい 面白い

かわいい

○小論文はあくまで、客観的に書く

である調

補足: 手書きとワープロの違い

ワープロの場合: 自由に文書が変更/編集できる。
手書きで文書の作成が苦手な人もワープロを使えと文章を書けるようになる場合もある。

- ・文章を書き始めるのではなく、あくまでアウトラインを先に書く。
- ・段落の内容書いている、行き詰ったら次の段落にいてもよい。
- ・最後に文、段落の関係を見直して、完成させる。